

別記様式8 〔第5項(6)〕

目 標 達 成 計 画

事業所名 せんだんの里グループホーム
 作成日 2022年 3月 31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所として必要とされている役割や、地域との交流、生活の継続等の意義についての理解、共有が職員全体まで行っていない部分がある。	職員全体でグループホームの役割や、認知症ケア、理念への理解を図り、根拠を持って利用者の支援を行うことに繋げる。	理念に関する振り返り、理解を深める取り組み、部署内での会議等でグループホームの役割の再確認を行う。また、ケア自体の振り返りを実施する。	令和4年4月1日～ 令和4年3月30日
2	15	直接の面会や外出の制限が続いている中で、利用者の生活の様子(食事内容等も含めて)がご家族に円滑に伝えられていない部分の改善や、交流や関係性の継続への配慮がより必要と感じる。 (ご家族へ実施したアンケート結果からの課題)	・現状行っている対応の継続のみではなく、多様な手段を提案、実施することでご家族へ利用者の生活についての情報の発信、ご家族や利用者の交流や関係性の継続がより密に行えることで利用者、ご家族にとって安心できる環境を目指す。	状況を見ながら直接の面会や外出が行える方法の検討や、難しい場合でもオンライン、窓越しでの面会、会話を行える機会をより多く持っていただけるような発信、その他交流を継続できる機会の提案を行う。また、利用者の日常、活動や食事の内容など、実際に足を運ぶことで細部まで共有できていた情報について、状況が変化しても以前と同様に共有できるよう、方法を検討し実施する。	令和4年4月1日～ 令和4年3月30日
3	45・49	レクリエーション・余暇活動等の機会は増えているが、より入居者個々に向けた活動や、生活継続支援が必要と感じる部分もある。	・入居者の情報を把握、共有することで、意向を汲み取りより1人1人にあった支援、活動の機会を提供する。 ・外出等制限下でも、季節感や張りのある生活を送って頂けるように取り組んでいく。	職員全体で利用者の情報を収集、共有できる仕組みの確認を行い、より個々の意向に沿った趣味、余暇活動などケアの提供を目指す。また、感染症拡大防止対応による制限の続く状況でも、以前と同様に季節・日常を感じられるようなサービスを提案し、提供していく。	令和4年4月1日～ 令和4年3月30日

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。